

一般質問

(一般質問は2面・3面にも掲載)

再生可能エネルギーの普及と地域の活性化を図れ



日本共産党 佐藤 文昭

再生可能エネルギー等について

長野県飯田市のように太陽光発電を0円で設置するシステムを地域事業団と取り組んではどうか。

県のがながわソーラーセンターの設置プランでは、初期負担8万円と国・県・市の補助金で設置でき、設置後は買い取り期間の10



公明党 野田 毅

いじめ撲滅のための学校への支援強化について

本市教育委員会が、いじめ問題について取り組んでいる内容はどのようなか。

全教職員にいじめ対策マニュアル「育てようやさしい心」を、児童生徒・保護者には、リーフレット「広げようふれあいの心」を配付し、いじめ撲滅の意識啓発に努めている。また、教員OBであ

いじめ撲滅と自殺対策を強化し未来の大切な子どもをみんなで守れ

野田 毅

小学校巡回教育相談員を各小学校に派遣し、児童や保護者、教職員の相談に当たっている。

いじめ対策マニュアルを活用して積極的に子どもにかかわるなどの対応をしている。



学校現場での自殺予防に注目が集まっているが、本市の指導マニュアルはあるのか。

いじめ対策マニュアルを活用して積極的に子どもにかかわるなどの対応をしている。

行政のスリム化、公務員改革のスピードアップを



民政会 阿蘇 佳一

一 財政再建について

国の借金は104.2兆円、国家公務員給与を7.8%削減し退職金も順次下げる。県の借金は4兆円、知事の給与を25%、職員給与を4%から6%削減する。藤沢市は職員給与を平均1.8%削減、

鶴巻温泉駅の改築や小田急電鉄との調整に一定の前進があると聞くがどうか。また、地元が要望している手湯、足湯、温泉スタンドの整備はどのようか。

市は職員給与を平均1.8%削減、

鶴巻温泉駅踏切の乱横断解消など橋上駅舎と同等の機能を有する橋上改札口を整備することで調整している。エレベーターなどは市の負担だが、跨線橋の設置、ホームの改修などは小田急電鉄の負担で協議を進めている。また、弘法の里湯第2駐車場候補地は、駐車場以外に、新源泉を活用した温泉施設の整備を検討し、足湯は平成25年度に供用開始できるように手



緑水クラブ 高橋 文雄

一 カルチャーパーク再編整備について

文化会館や中央運動公園周辺の整備が進んでいる。計画概要の説明板が公園内に設置されているが、①ジョギングコースである園路、②駐車場、③中央こども公園西側広場の整備はどのようか。



市民の健康増進につながる整備を

①園路は一部にクッション性舗装材を使いジョギングコースとする。②既存の駐車場は全体的に駐車スペースを広げ、文化会館東側は大型バス8台と普通車170台分の整備をする。③芝生広場化とバリアフリー

市長の決意で、今泉地区荒井(農地ゾーン)は間もなく事業認可されるといふが事業規模はどのようか。また、都市計画道路ゾーンはどのように取り組みのいか。

総事業費約9億円のうち補助金が約5億1000万円、減歩率は約40%で、下水道整備は下水道事業で対応し、都市計画道路ゾーンは、市施行による減価償却制度で早期に機能するよう整備する。

減歩負担軽減と事業の早期完成に鋭意努めてほしい。

適正な優先順位で地域と一体となった温泉街活性化を



新緑クラブ 今井 実

一 弘法の里湯の検証と鶴巻温泉街活性化構想について

約1億7400万円かけて平成23年11月にリニューアルオープンした弘法の里湯の検証結果は、温泉街街活性化などの目的からは程遠い状況であった。今後に向けて在り方を議論し、根本から見直す必要があるがどうか。



鶴巻温泉街の活性化を

期待された誘客効果を上げられなかった結果は、反省している。今後は、効果的な情報の発信など、利用者の拡大に取り組みたい。

弘法の里湯の一人勝ちになっ

鶴巻温泉源泉活用検討会では、足湯の設置はすでに決定済みとの事だが、市としての決定事項か。

平成25年度の供用開始を目的に必要な整備を進めていきたい。

温泉の灯を消さないと言いが、源泉掘削決定からすでに4年が経ち、温泉を引くための温泉条例の制定も未着手である。入湯税は1

日約10人、年間84万円足らずで4年前の約半分であり、温泉の灯が消えてしまうとどうなるか。

弘法の里湯の一人勝ちになっ

地域と十分な意思疎通を図り、地域活性化に必要な優先順位を十分に考慮した上で、温泉街再活性化に取り組んでほしい。

高齢者割引を実施し里湯を地域の集いの場にも



緑水クラブ 木村 眞澄

一 弘法の里湯の利用促進に向けて

ウェブアンケート調査では、市民の約9割が弘法の里湯を利用していないと回答しているが、地域住民の利用や集いの場として活用する方策はどうか。

現在、貸切休憩室は利用が少ない状況であり、今後は利用者を待つのではなく、自治会や老人会など各種地域団体に温泉とともに

集いの場としての利用を積極的に働き掛けていきたい。

温泉の効能を生かし、市民の健康増進につながる施設として、年間を通して高齢者平日割引を実施してはどうか。

毎年9月と10月に実施している高齢者月間での200円割引は大変好評である。利用者を増やすには平日利用の促進が重要であり、通年での高齢者割引は有効な手段であるため早急に組みたい。

平成26年度までの「ほけつ」と21の設置目標は、あと2か所である。公共施設再配置計画では保健福祉センターなど既存の公共施設の活用が考えられる。具体的な場

をを検討する際には、未設置の地域などバランスを考え、利用者アンケートの結果を考慮し、新たに日曜日の開設も検討してほしい。

議会のうごき

○11月	22日(木) ・議会運営委員会	6日(木) ・文教福祉常任委員会
	27日(火) ・代表者会議	【傍聴者1人】
	・市議会第4回定例会開会	10日(月) ・都市建設常任委員会
	【傍聴者なし】	【傍聴者8人】
	・議会運営委員会	12日(水) ・議会活性化特別委員会
	・代表者会議	【傍聴者2人】
29日(木)	・議会運営委員会	18日(火) ・議会運営委員会
	・本会議(議案審議)	・市議会第4回定例会閉会
	【傍聴者なし】	【傍聴者4人】
	・議会運営委員会	・議会運営委員会
30日(金)	・本会議(一般質問)	・議会報編集委員会
	【傍聴者10人】	・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第4回定例会
○12月	3日(月) ・本会議(一般質問)	○1月
	【傍聴者12人】	16日(水) ・代表者会議・議員連絡会
	・代表者会議	・議会活性化特別委員会
	・議会運営委員会	・議会運営委員会
4日(火)	・本会議(一般質問)	・文教福祉常任委員会
	【傍聴者4人】	(現地調査)
5日(水)	・議会運営委員会	28日(月) ・代表者会議
	・総務常任委員会	・議会報編集委員会
	【傍聴者7人】	・議会運営委員会